

なぜシリコンバレーを調査したのか

RIETI/京都大学研究の目的と氏家報告の背景

2006年3月30日

京都大学経済研究所附属

先端政策研究センター

産業クラスター研究プロジェクト

研究代表者：児玉 俊洋

産業クラスター形成のための注目点

- 産業クラスター政策の重点
 - 産業集積の中にイノベーションネットワークを構築すること
- そのための注目点
 - 担い手企業（積極的な参加企業）の発掘
 - 技術吸収力（absorptive capacity）のある中小企業
 - 連携仲介機能の整備
 - 産学間、企業間の技術革新連携（新製品開発のための連携）の仲介
 - 大企業と中小企業との技術革新連携
 - →シリコンバレーに参考事例を求める（日米の相違点に留意しつつ）

企業間の技術革新連携の考察の枠組み

- 技術の買い手（大企業）と技術の売り手（ハイテク中小企業、ベンチャー企業）
- 連携が成り立つためのチェックポイント
 - 技術の売り手が十分に存在し、その集積が買い手に認知されているか
 - 連携仲介（潜在的な連携相手先を見つけられる）の仕組みはあるか
 - 大企業と中小企業との交渉力に格差はないか
 - ハイテク中小企業の独立指向性との両立